

SUPPORTERS

サポーターズ No.161 2023 春号

一般社団法人 山梨県理学療法士会ホームページ

<http://ypta.jp/>

会員数 947 名 施設数 153 (R5.2.27 現在)

「supporters (サポーターズ)」とは…

我々理学療法士が社会に寄与していく職種であることを思い、『支える人』という意味の supporter に複数形のsを加え、supporters：支える人たち（造語）の意味です。

「ひとり一人ができる SDGs」

前回の Supporters No.160号、磯野会長の「これからの2年」を読み返して、SDGs を調べてみました。Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）2015年9月の国連サミットで「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された17の国際目標・169のターゲット・232の指標の中で、私見にて理学療法士が関われそうなターゲットを抽出してみました。

（目標・ターゲット・指標）

3.4 2030年までに、非感染性疾患による若年死亡率を、予防や治療を通じて3分の1減少させ、精神保健及び福祉を促進する。

3.4.1 心血管疾患、癌、糖尿病、又は慢性呼吸器疾患の死亡率

8.5 2030年までに、若者や障害者を含むすべての男性及び女性の、完全かつ生産的な雇用及び働きがいのある人間らしい仕事、ならびに同一価値の労働についての同一賃金を達成する。

11.2 2030年までに、脆弱な立場にある人々、女性、子供、障害者及び高齢者のニーズに特に配慮し、公共交通機関の拡大などを通じた交通の安全性改善により、全ての人々に、安全かつ安価で容易に利用できる、持続可能な輸送システムへのアクセスを提供する。

11.3 2030年までに、包摂的かつ持続可能な都市化を促進し、全ての国々の参加型、包摂的かつ持続可能な人間居住計画・管理の能力を強化する。

17.17 さまざまなパートナーシップの経験や資源戦略を基にした、効果的な公的、官民、市民社会のパートナーシップを奨励・推進する。

国連、国、都道府県と「目標」で結ばれているのだと再認識しました。我々の活動もこれに紐づけられていると思います。

また unicef では「持続可能な世界への第一歩 SDGs CLUB」にて、「みんなの行動宣言」を募集しています。17の国際目標に対しひとり一人が、できそうな行動目標を作る。例えばゴール7「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」に対し、「節電に努める」など。これはピーター・ドラッカーの「目標による自己管理」の理論を適応すれば、宣言し実行することで、私たちひとり一人の行動が「SDGs」に参画していることと同義になります。

ターゲット 3.4に対し私も、嗜好品を減らしてみようか？皆さんも理学療法の分野に限らず「行動宣言」してみませんか？

外務省ホームページ・unicef ホームページ参照

会報部 宇月 正明

CONTENTS

「やまなし地域リハケアの推進を考える会 研修会」報告 ……	2
「糖尿病に対する多職種地域連携セミナー（Web 研修）」を終えて ……	3
士会支部局の活動 ……	4

「第25回山梨県理学療法士会学術集会」活動報告 ……	5
「理学療法やまなし」編集を終えて ……	6
活動報告 ……	6～7
事務局からのお知らせ ……	8～9
リレーエッセイ Part 43 ……	10～11
原稿募集 ……	10
編集後記 ……	11

「やまなし地域リハーケアの推進を考える会 研修会」報告

山梨県理学療法士会 会長 磯野 賢
(甲州リハビリテーション病院)



やまなし地域リハーケアの推進を考える会は、山梨県理学療法士会、山梨県作業療法士会、山梨県言語聴覚士会、山梨県介護支援専門員協会の4団体が相互の理解と連携強化を目指して設立した会で毎年研修会を開催するとともに、今年度は、今までの活動を1冊にまとめ「5年間の活動記録」をお配りさせていただいたところです。

今年度研修会は去る11月29日に山梨県医師会館からWeb配信で開催しました。今回は、「地域包括ケアシステム ～自立支援～」をテーマに各会長がお話しさせていただく研修会となりました。テーマに沿ってそれぞれの立場から地域包括ケアシステム構築の推進、その中での自立支援について、各士会の取り組みを過去・現在・未来という切り口でまとめお話しさせていただきました。そういった意味では、研修会というよりは、皆さんにお伝えしたいことを話す機会をいただいたところでしょうか。

私からは、私たちが暮らす・働く「地域」で医療が必要になれば医療を、介護が必要になれば、介護を提供できる仕組みが必要。また、ただ医療・介護サービスを提供するということではなく、自助・互助を推進し積極的に介護予防・フレイル予防を行い健康寿命の延伸も重要な要素。そこには、医療はもちろん、介護にもそして予防にも関わることが出来る理学療法士の活躍が必要で、目の前の方に全力で理学療法を提供するのはもちろんのこと、それらがつながりを持って提供されるべき。ならば提供する我々がしっかりとつながることが重要でそれでこそ役割を果たすことができる。といったお話しをさせていただきました。

理学療法士が医療専門職として、一人の住民として地域の課題に目を向け、考えることこそ地域包括ケアシステムの推進ではないでしょうか。住民の健康のため地域を支える存在として力を発揮し、私たちがつながり、他職種と連携し、誰もが地域で安心して暮らすことが出来るよう取り組んで行きましょう。

「糖尿病に対する多職種地域連携セミナー (Web研修)」を終えて

糖尿病対策推進委員会 委員長 藤田 理恵
(湯村温泉病院: fuji3-yhp@hken.jp)

COVID-19 第8波の兆しが見え始めた昨年11月10日、「糖尿病に対する多職種地域連携セミナー」をWeb研修にて開催しました。参加者はPT、医師、保健師、看護師、薬剤師、栄養士139名、他職種の多くは「(日本 / 地域) 糖尿病療養指導士」という糖尿病治療に大切な自己管理(療養)を患者に指導する医療スタッフで、一定の経験を有し試験に合格した看護師、管理栄養士、薬剤師、臨床検査技師、理学療法士に与えられる資格を持つ糖尿病の臨床における生活指導のエキスパートです。

セミナーは3部構成、第1部は、私から「糖尿病に対する運動療法～医療・介護でのPTの関わり方～」とし、糖尿病を持つ高齢者の運動療法について、医療・介護・地域での関わり方について、PTだからできる指導や、多職種に向けた提案など事例を交えてお話しさせていただきました。

第2部は甲府市保健師の石原匠先生より「甲府市における保健師の支援・地域の現状」について、地区担当保健師による地域診断や、糖尿病重症化予防事業の実際についてお話しいただき、多職種からの情報や課題提供などが、地域づくりのきっかけになるとご提案いただきました。

**糖尿病をもつ人は、
あなたと同じ社会で活躍できる人です。**

糖尿病について何も知らない人々からの誤解や偏見のために、
就学や就職、結婚、マイホームの夢を抱たれる人がいます。
病気のことが言えずに、無理をしながら生活している人がいます。
糖尿病治療に前向きになれない人がいます。
近年、糖尿病は治療が飛躍的に向上し、
ふつうの人と変わらない一生を送ることが出来る病気なのに...
「私は糖尿病とは無関係だから、知らなくてもいいんじゃない?」
いいえ、
今、あなたの、そして社会からの正しい理解を必要としています。

糖尿病には、あなたの正しい理解が必要です。

公益社団法人 日本糖尿病協会 一般社団法人 日本糖尿病学会
糖尿病とともに生きる人の可能性や未来を偏見で構み取らない社会づくりに私たちは取り組みます。
詳しくは 糖尿病協会 アドボカシー 糖尿病

第3部は、中里内科クリニック DM の院長中里稔先生に、「患者中心のアプローチを意識した療養指導」について、Clinical Inertia (臨床的惰性)、糖尿病ステイグマなど医療従事者側の意識の問題など、多岐に渡り、分かり易く大変貴重なお話しをいただきました。

最後に、糖尿病ステイグマとは、「個人の特徴を一般的に否定的なカテゴリと結びつけてレッテルを張り認識する事」とされ医療従事者がこのような態度を示す場合、患者の治療中断や重症化を招く事が知られています。糖尿病の治療・予後が大きく改善した今でも、昔ながらの間違ったイメージが社会に定着し患者の不利益につながっており、これを払拭する事は、私達の義務と考えます。そして糖尿病治療は、まさに包括的かつ持続可能な自己管理が目標であり、それを支えるPT一人ひとりができるSDGsです。



士会支部局の活動

山梨県の支部活動が始まりました

士会支部局 局長 平賀 篤
(帝京科学大学：a-hiraga@ntu.ac.jp)

山梨県は山地や河川が総面積の多くを占め、平地部は極めて少ないという地理的特性を持ちます。また県内の複数箇所でも地域間の特長の違いは様々などで見受けられます。その影響もあり、山梨県では以前より理学療法士間の横の連携が取りにくい、また情報が共有できても、他の地域ではその情報が活用できないことなどが課題として挙げられていました。

そのような背景から、2018年より山梨県理学療法士会は、山梨県を2つの支部に分けて独自の活動を推進する構想に着手しました。臨床の先生方が日々感じている課題やご意見をいただきながら山梨県に必要なことを模索していき、ついに2022年6月より支部としての本格的な活動を開始しました。

①支部の地域設定(図1)

『中西部支部』：甲府盆地を中心とした山梨県中西部地方

中西部支部はさらに5つの地区に細分化し、それぞれ地区長を選出します。

『富士東部支部』：富士山北麓をふくむ山梨県東部地方

②支部活動の目標

- ・地域内の士会員ネットワークの構築・強化と情報共有、他団体との連携強化
- ・地域に根付いた活動の支援
- ・災害時のスムーズな対策・連携

③開始時点での支部の具体的活動内容

- ・リハマップの作成：支部内の理学療法士人員把握を目的とした一覧表を作成し、士会員のネットワーク構築を目指します。
- ・地域委託事業の請負：地域、企業から委託された講座等の事業を請け負い、地域と士会の距離を縮めるような働きかけを目指します。
- ・小規模研修会や症例検討会、座談会の開催：フラットな発言のしやすい研修会や座談会を開催し、自己研鑽に加え地域セラピスト間の良好な関係性作りを目指します。

今後、地域特性や臨床の先生方のご意見をいただきながら、必要とされている取り組みを柔軟に展開していく予定です。

支部活動に際しまして多くのご意見・ご要望を士会支部局に頂戴できればと思います。士会員の皆様の積極的な支部活動参加をお待ちしております。



第25回山梨県 理学療法士会学術集会

活動報告
Activity Report

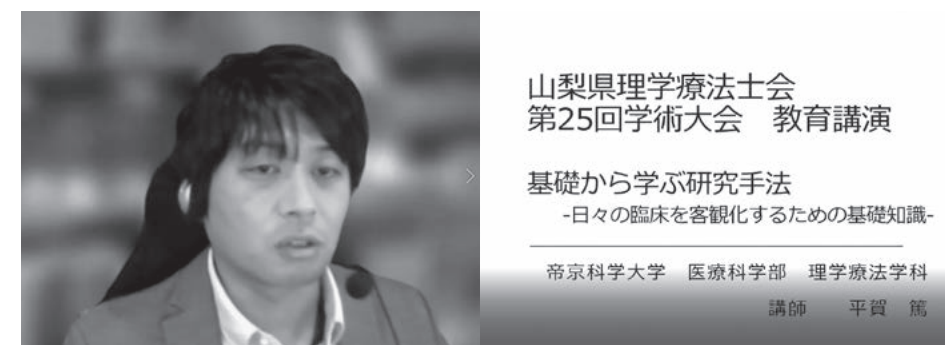
学術大会局 士会学術集會部 宮野 将貴
(甲府城南病院：shikaigakujyutu.yamanashi@gmail.com)

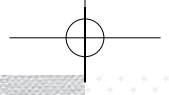


令和5年2月12日に第25回山梨県理学療法士会学術集會をWebにて開催することができました。恵信甲府病院の井村順治大会長の開会の挨拶を皮切りにして、特別講演は京都大学の建内宏重先生に「変形性関節症の理学療法を拓く」というテーマでご講演をいただきました。教育講演では、帝京科学大学の平賀篤先生から「基礎から学ぶ研究手法-日々の臨床を客観化するための基礎知識-」というテーマにてご講演いただきました。一般演題は16演題、参加者は120名でした。

当士会単独でのWeb開催は、今回が初めてではありませんでしたが、一般演題の事前配信、特別講演・教育講演のアーカイブ配信を行い、多くの士会員の皆さんが聴講できるような取り組みを行いました。今年度より新生涯学習制度に切り替わりましたが、学術団体として今後も発表が出来る場を整えていきたいと思います。

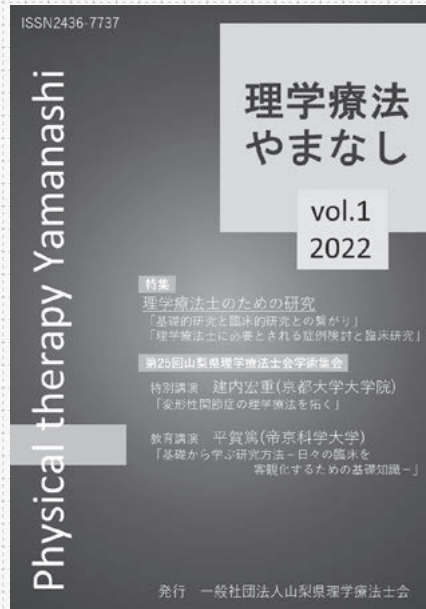
当士会単独でのWeb開催は、今回が初めてではありませんでしたが、一般演題の事前配信、特別講演・教育講演のアーカイブ配信を行い、多くの士会員の皆さんが聴講できるような取り組みを行いました。今年度より新生涯学習制度に切り替わりましたが、学術団体として今後も発表が出来る場を整えていきたいと思います。





Editor's Note

「理学療法やまなし」編集を終えて



今年度から、学術誌と学会誌（理学療法士会学術集会）が合冊で発刊される事となりました。既に皆様のお手元に届いていると思います。

発刊に際して、山梨県理学療法士会会長・副会長、理学療法士会学術集会大会長、各記事でご執筆いただいた皆様、発刊の作業に関わった、学術大会局・士会学術集会部・学術誌編集部の皆様に御礼申し上げます。

発刊に至るまでには、想像以上の作業工程がありましたが、皆様からいただいた様々な知識を集約させる作業に関われた事は貴重であると感じています。集約された知識を、臨床に生かしていただければ幸いです。

「理学療法やまなし」は山梨県の理学療法士の質を向上させる一つのツールであると考えています。質の向上には、山梨県理学療法士会の方々のご支援がこれからも必要であります。今後もご指導賜りますようお願い申し上げます。次号も楽しみにしていただければと思います。

学術誌編集部 部長 相原 正博（帝京科学大学：m-aihara@ntu.ac.jp）

各部活動報告

社会局 スポーツ理学療法部

□ 第74回スポーツ理学療法勉強会

山梨大学医学部附属病院 リハビリテーション部 小林 幸一郎

令和4年10月29日(水)、オンラインにて第74回スポーツ理学療法勉強会を開催しました。今回の勉強会は「女性アスリートとスポーツ傷害～婦人科領域で気を付けるべきこととは～」と題し、東京大学医学部附属病院 女性診療科・産科 特任教授 能勢さやか先生をお招きし、お話をいただきました。今回の内容



は女性アスリートに多い無月経の原因と対策、月経随伴症状への対策についてでした。女性アスリートの三主徴である「利用可能エネルギー不足」からくる「無月経」や「骨粗鬆症」の因果関係についてエネルギー不足の改善が重要であり、健康管理や障害予防の点で10代からの介入が必要であること、また月経随伴症状の問題についてはトップアスリートにおいてもその対策が浸透していない現状を知り驚きました。スポーツ PT 部では高校女子バレーボールチームにかかわっており、改めて女性特有の問題に着目しながらサポートする重要性を感じました。今回の内容も踏まえながらより良いサポートを行っていききたいと思います。

★ 問い合わせ先：社会局スポーツ理学療法部
(E-mail : kokobayashi@yamanashi.ac.jp)

社会局 スポーツ理学療法部

□ レスリング競技大会のメディカルサポートに参加して

山梨リハビリテーション病院 リハビリテーション部 理学療法課 三木 伸太郎



令和4年12月27日に小瀬スポーツ公園でレスリング JOC 杯 U20・U17 全国予選会及びアジア選手権 U15 代表選出大会予選会が開催されました。

この大会は日本大会の関東予選で、日本大会の優勝者は日本代表として世界大会への切符を手にすることができる重要な大会です。今回は国立スポーツ科学センターの中嶋 耕平医師と理学療法士3名で救護班として、マット上や救護所での応急処置対応を行いました。試合では衝突などによる出血が多く、中断して対応しなければなりません。ルール上、1試合の止血対応は4分間しかなく時間を過ぎると失格になってしまうため、いかに短時間で止血するかが重

要になります。頭部や鼻出血を数多く経験し、試合を継続させることができ何度もほっとしました。

今回、選手たちが安全に競技を継続するためには、最善な対応を迅速に行えるように準備していく必要があることを実感しました。この大会で得た貴重な経験を今後も活かしていきたいです。

★ 問い合わせ先：社会局スポーツ理学療法部 小林 幸一郎
(E-mail : kokobayashi@yamanashi.ac.jp)

社会局 スポーツ理学療法部

□ 令和4年度北杜市スポーツ少年団指導者研修会にかかわって

健康科学大学クリニック リハビリテーション課 平井 郁弥

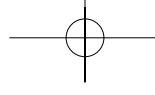
北杜市スポーツ少年団連絡協議会からの依頼を受け、令和4年11月26日、北杜市あけの総合会館において「テーピングの基礎」というテーマのもと、スポーツ PT 部員4名が講師として、また新型コロナ第8波の予兆の中、感染対策を万全にして活動してきました。

受講者はスポ少指導者24名で、前半に講義、後半に受講者同士で足関節内反捻挫予防テーピングの実演を行いました。初めての方からベテランまでレベルの差はありましたが、皆さん熱心であり、あちこちからの質問攻めに講師4人、休みなく2時間があっという間に過ぎてしまいました。スポーツ現場にトレーナーがいることが当たり前ではない中、指導者の知識を身につけることは大変重要です。

我々の活動がその一助となり、少しでも怪我なくスポーツを安全に楽しみ、その先の笑顔につながればと思うとやりがいを感じます。これからも普段の仕事はもちろん、スポーツの活動を通してたくさんの方の力になりたいと改めて思いました。

★ 問い合わせ先：社会局スポーツ理学療法部 小林 幸一郎
(E-mail : kokobayashi@yamanashi.ac.jp)





お知らせ Information



事務管理局からのお知らせ

= 重要なお知らせ =

◆ 会費の納入期限について

2023年度分の会費の納入期限は2023年(令和5年)3月中になります。

クレジットカード、口座振替の会員については、3月中に引き落としになります。

引落登録のない会員については、振込用紙が順次発送されます。

注意:振込用紙を利用されている会員につきましては、

用紙到着から納入までの期限が短くなることがあります。

3月末までに納入のなかった場合は、4月から会員権利の全面停止、

6月末までに納入のなかった会員につきましては、会員資格喪失により退会、となります。

*退会となった場合、これまで獲得した生涯学習ポイント等はすべて失効となります。

再度在会を希望した場合は「新入会」となり新人教育プログラムからの再履修が必要です。

◆**「4月以降の異動が決定した場合(特に県外へ)」**は、可能な限り早めの申請をお願いします。

◆**「休会、退会」を希望される会員**は、2023年3月31日に手続きを完了できるよう早めに申請をして下さい。

*期間内に手続きが完了した場合は、引落決済確定後も後日返金されます。

*年会費納入確定後4月2日以降に申請をされた場合は、返金されませんのでご注意ください。

*休会については1年毎の申請が必要です。

会員情報の変更手続き(異動、休会、退会、会費納入方法等)については、

協会HPの「マイページ」から手続きを行ってください。

マイページにアクセスするには、協会が各個人に発行したIDとパスワードが必要です。

「IDやパスワードがわからない」という方は、協会HPから再発行の手続きをお願いいたします。

「そもそもインターネット環境が無い」という会員の方は、

お手数ですが日本理学療法士協会まで問い合わせをお願いします。

(公社)日本理学療法士協会 TEL:03-5843-1747

*会員情報につきましては、(公社)日本理学療法士協会の会員管理システムにて一括管理されているため、県士会単独では対応できません。

◆(公社) 日本理学療法士協会の年会費割引制度の案内

日本理学療法士協会には年会費の「育児休業割引」、「シニア割引」、「海外会員割引」があります。

詳細は日本理学療法士協会HP「年会費」をご覧ください。

◆ 会員の慶弔があった場合について

一般社団法人山梨県理学療法士会 慶弔規定に基づき対応いたします。

山梨県士会HPの「お問い合わせ」のページ内にある「会員慶事通知フォーム」、「会員弔事通知フォーム」からお願いします。

◆ 事務管理局への問い合わせについて

山梨県士会HPの「事務管理局への問い合わせ」メールフォームからお願いいたします。

インターネット環境がない会員の方は、

山梨県立あけぼの医療福祉センター 療法科内 担当 有泉

TEL:0551-22-6112(療法科直通)までお願いします。

◆ メール配信について、アドレス登録のお願い

令和2年9月1日から当士会独自のメール配信システムを稼働しました。令和3年4月からは「紙文書による通知は廃止」、「原則メール配信のみによる通知」となっています。

引き続き会員の皆様には、アドレス登録についてご協力いただきますようお願いいたします。

・登録メールアドレスは1会員1アドレスでお願いします。

・一度登録したアドレスを変更する場合は、登録解除フォームにて登録メールを解除後に、新しいアドレスを登録しなおしてください。

メール登録フォームURL:

[http://form3.yptamail.info/fm/mailUserExt/showRegisterForm?](http://form3.yptamail.info/fm/mailUserExt/showRegisterForm?gpId=rpnONZthgtfUqrwtLaiOgzf)

[gpId=rpnONZthgtfUqrwtLaiOgzf](http://form3.yptamail.info/fm/mailUserExt/showRegisterForm?gpId=rpnONZthgtfUqrwtLaiOgzf)



登録メール解除フォームURL:

[http://form3.yptamail.info/fm/mailUserExt/showUnregisterForm?](http://form3.yptamail.info/fm/mailUserExt/showUnregisterForm?gpId=rpnONZthgtfUqrwtLaiOgzf)

[gpId=rpnONZthgtfUqrwtLaiOgzf](http://form3.yptamail.info/fm/mailUserExt/showUnregisterForm?gpId=rpnONZthgtfUqrwtLaiOgzf)



*インターネット環境が無いなどでメール受信が困難な方は事務管理局までご連絡ください。これまでどおり紙文書での通知を行います。

◆ メール配信におけるエラーメールについて

以前からお伝えしておりますが、せっかくアドレスを登録していただいてもエラーメールとなり配信がされないケースが一定数あります。中でも携帯電話のキャリアメールのアドレスが多くなっております(ドコモ、au、ソフトバンク等のアドレス)。また、当士会のメール配信は研修会などの情報が公開されたことをお知らせし、詳細な情報が記載されている当士会HPの閲覧を促すように掲載ページのURLをメール本文に載せておりますが、それを詐欺メールなどに判断されてしまう事もあるようです。

再度、ご自身のメール設定をご確認いただくか、別のメールアドレス(Gmailやヤフーメール等)への変更もご検討をお願いいたします。

2023年
1月20日の
官報より

自民党の三木亨参議院議員が議員辞職願を提出し許可されました。三木氏は2019年の参議院選挙で自民党の比例代表の「特定枠」で当選。今年4月に行われる徳島県知事選挙に無所属で立候補する意向を表明しています。

三木氏の辞職に伴い、自民党の比例名簿から日本理学療法士連盟が支援した田中昌史氏が繰り上げ当選しました。田中先生のご活躍を期待しております。



途絶えることのないバトンを君に /

リレーエッセイ

『リレーエッセイ』
とは…

士会員を対象に、身近な出来事・お国自慢・今はまっていること・病院紹介など、何でもよい（ただし、誹謗や中傷の内容は除外します）ので400字程度で執筆していただき掲載していく企画です。

以前の Supporters にあった「会員のひろば」との違いは、会員同士の輪を広げるということで、執筆された方が次の執筆者を決めて、紹介していただくという点です。無理やり書いていただくわけではなく、執筆者同士の繋がりを大切にしていきたいと考えていますので、依頼を受けた方は快く執筆していただけたらと思います。

リレーエッセイ

Part 43-1

湯村温泉病院 菊池 卓

帝京科学大学の相原正博先生よりバトンを頂きました、湯村温泉病院の菊池 卓です。 新年を迎え今年こそ感染症が終息し、より良い一年になることを期待したいと思います。日々の業務は新型コロナウイルスへの感染対策をしながらの厳しい状況が続いています。その様な状況の中、私事ですが昨年の 11 月に双子の女の子が誕生しました。とても可愛く、尊い存在です。初めての子供が双子ということで妻、義両親総出で日々子育てに奮闘中です。現在、生後2か月でこれからの成長が楽しみです。家に帰って子供達の寝顔をみたり元気な声を聞いたりして仕事への活力をチャージしています。この子達が大人になった時代には明るい社会になればと願うばかりです。（私の老後の時までにも…笑）

今回は加納岩総合病院の松木僚治先生にバトンをお渡し致します。よろしくお願い致します。

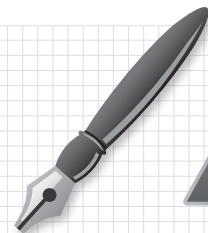


原稿を募集しています!

会報部では会員の声を少しでも多く取り入れたいと考えております。テーマ等は自由です。

1. 研修会・勉強会等の開催案内・報告内容など
2. 各種お知らせ事項など
3. 体験記など
4. その他

● 問い合わせ先：広報局 会報部 宇月正明
春日居サイバーナイフ・リハビリ病院
TEL：0553-26-4126 FAX：0553-26-4366
E-mail：kaihoushiyamanashipt@yahoo.co.jp



内容の規定はありませんが、個人・団体等の中傷あるいはこれに準ずるものは不可。

※ 第162号発行は、
2023年9月を予定しています。

原稿の締め切りは

8月中旬です。



リレーエッセイ

Part 43-2

特別養護老人ホーム田富荘 渡邊 恭介



老人ホーム田富荘の森田先生よりバトンを頂きました、田富荘デイサービスセンターの渡邊です。このリレーエッセイを通して施設紹介をさせていただきます。当施設は社会福祉法人喜栄会、平成8年1月22日、中央市に開設されました。サービスは老人福祉施設をはじめ、短期入所生活介護、通所介護、訪問介護、居宅介護支援事業所を運営しています。また、市町村による事業として総合事業の通所型サービスAを実施しています。中央市は高齢者が住んでいて良かったと実感できる中央市～安心して健やかに暮らせる～を基本理念としており、当法人でも地域に根差した貢献活動を行っています。そして今、新たな取り組みとして、田富荘と健康科学大学が協同でフレイル予防を目的とした介護予防事業を地域包括支援センターに提案しています。高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けるよう、自立支援の一助になればと思っています。

今回は健康科学大学理学療法学科 大塚篤也先生にバトンをお渡し致します。よろしくお願い致します。

編集後記



全ての医療・福祉に従事している方々と、お忙しい中、快く執筆をしていただいた諸先生方に感謝申し上げます。

さて先日、「世界一コンパクトな超1GHzの NMR（核磁気共鳴装置）の開発に成功」の記事を読んだ。将来的にアルツハイマー型認知症に関わるアミロイドβペプチドの超微量試料の構造解析などの先進研究に役立つ、とあった。読み進んでいくと「永久電流」「超電導接合」と出てくる。理解を深めるために調べ進めると、MRI や今回の NMR の原理、「コヒーレンス」や「ローレンツ力」と辛うじて聞き覚えのある言葉に出会う。「ローレンツ力」と聞くとなぜか「レールガン」を思い出した私。「レールガン」を調べると、2022年1月に防衛装備庁がレールガン開発に65億円を計上、とある。同じ物理現象でも対比してみると思慮深い今日この頃でした。

また会報誌発行の際には引き続きご協力お願いいたします。

宇月 正明

【発行】 一般社団法人 山梨県理学療法士会

【代表】 磯野 賢

【企画・校正】 宇月 正明 古澤 淳一 進藤 圭一郎 立澤 俊貴 一瀬 智之

【編集・印刷】 株式会社 たけまる

【会報部】 〒406-0014 山梨県笛吹市春日居町国府436
医療法人 景雲会 春日居サイバーナイフ・リハビリ病院
TEL：0553-26-4126 FAX：0553-26-4366
E-mail：kaihoushiyamanashipt@yahoo.co.jp



